

こんなことをしています！こんなところでがんばっています！

地域おこし協力隊通信

N／S高生「みかんづくしの4日間」



全国に3万人以上の生徒を有するインターネットの学校、N高等学校とS高等学校、N中部の生徒18人が、日本マンダリンセンターを拠点として10月15日から18日までの4日間、町内のミカンや農業について学び、体験する宿泊型体験学習プログラムを実施しました。

プログラムは、地域おこし協力隊の渋谷日和さんひよりが企画・運営を行い、温州ミカンの収穫体験や選果場の見学、大将季ハウスでの蔓敷きわらし、葉面散布など柑橘農家の仕事を体験できる内容です。



初日の夕食は、町商工会女性部のジビエ料理普及プロジェクトの一環で手作りのジビエカレーや芋がねが生徒やスタッフに振る舞われ、参加者は交流と食事を楽しみました。



最終日には、同センターで、生徒らが「小学生がより楽しくミカンについて学べる展示物」を製作し、見学に訪れた鷹巣小学校3年・5年生の児童約70人に向けて発表しました。

農家の一日や温州ミカンの歴史、おいしいミカンの見分けかたなどのテーマを紙芝居やクイズでまとめ、参加型の楽しめる

工夫がこらしてあり、児童らは、夢中になって耳を傾けました。

参加した生徒は、「第一次産業を営むかたや長島の名産品にたくさん触れることができて、長島が大好きになった」と話し、渋谷さんは「全国からミカン好きの中高生が集まり、農業の現場を体験。そこでの学びを町内の児童らに伝えることができ、双方にとって刺激的な交流になった。今回作成された展示物は同センターで活用するので、たくさんの人に見てほしい」と述べました。



※N中部部は学校教育法第一条に定められた中学校ではありません。